

5 レベルごとの対応の目安 (変異株の影響により感染拡大が急速に進む場合など、必要に応じ対策を前倒しする)

レベル0

- 新規感染者数ゼロを維持していくため、基本的な感染防止行動の実践を促進する。

レベル1

- 新規感染者が増加しないよう、特に、感染リスクが高まる場面や行動などに留意して基本的な感染防止行動の実践を働きかける。
- 感染経路の把握や濃厚接触者の特定を徹底しながら、必要に応じ、幅広い行政検査を実施する。

レベル2

- 急速な感染拡大による医療のひっ迫を防ぐため、警戒感を高めながら、感染リスクが高まる場面や行動を回避するよう、必要な要請等を行う。さらに、一定期間(2週間程度)感染の拡大が継続する場合には、基本的対処方針に基づき、さらなる制限を伴う要請を行うとともに、まん延防止等重点措置の国への要請の検討を行う。
さらにその後も感染の拡大が継続する場合には、感染状況を踏まえつつ、レベル3への移行も見据え、緊急事態措置の実施も含めた国との協議を行う。
- 保健所の体制強化を行い、さらなる疫学調査の徹底を図るとともに、入院療養、宿泊療養、自宅療養の一体的な運用による医療提供体制の強化を図る。

レベル3

- 国と協議しながら、基本的対処方針に基づき、まん延防止等重点措置又は緊急事態措置の下で、強い制限を伴う要請を行う。

レベル4

- 国と協議しながら、基本的対処方針に基づき、更なる強い制限を伴う要請を行う。